

社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会
平成23年度事業計画

《基本方針》

少子高齢化や核家族化の進行により、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は、今後ますます増えていくことが予想されています。地域の中で孤立し、介護や子育てに悩み苦しむ方など、支援を必要としている方も多くなってきており、地域には様々な課題が存在しています。

このような課題のなかには、個人や家族単位での対応では解決が難しいものも多く、地域住民や関係団体、専門機関が幅広い協働のもと、それぞれの役割を担いながら地域の横のつながりをより一層意識し、地域全体の課題として取り組んでいく必要があります。

東区社会福祉協議会（以下「本会」という。）では、いきいき支援センターや介護保険事業所、ボランティアセンターなどの専門性と関係機関や団体との幅広いネットワークを活かして、課題を抱えた個人や家族への「個別支援」を引き続き実施します。また、そのなかから把握した個別の課題を地域全体の問題として捉え、地域で支える助けあい活動を推進するため地域活動を支援してまいります。

さらに、今年度も広く地域住民の皆様の参画を得ながら「東区社会福祉協議会第2次地域福祉活動計画（以下「第2次地域福祉活動計画」という。）」に関する事業の充実・発展に取り組み、「誰もが住みよいまちづくり」を進めてまいります。

また、指定管理者として最終年を迎える高岳児童館・福祉会館については、これまで同様、区民や市民に愛され信頼される施設運営を着実に行うことにより、引き続き、管理者として役割を担えるよう次期申請にも取り組みます。

1 「第2次地域福祉活動計画」に基づく事業の推進

地域福祉活動支援組織「第2次みんなで創ろうわがまちひがし（以下「みんなつく」という。）」と協働して推進します。

(1) 「第2次地域福祉活動計画」事業の推進

「みんなつく」をテーマごとに3つのグループに分け、23年度に実施する「第2次地域福祉活動計画」事業の実施計画を立て、ふりかえり（評価）を行い、確実な事業推進を図ります。

また、グループ代表者などで構成される「世話人会」において、活動の全体を把握するとともに、必要に応じて新たな活動の提案などを行います。

その他、計画事業の実施にあたっては「みんなつく」メンバーだけでなく、より多くの住民に参加いただけるよう、「みんなつく〇〇隊(組)」を意識的に募集します。

(2) 「グループA i」による事業推進

「グループA i」では、『新たな地域の担い手を育てる・増やす』ため、認知症サポーターに対するフォローアップとも関連付けて「傾聴ボランティア講座」の開催などを検討し実施します。

(3) 「チーム出会いd e 愛」による事業推進

「チーム出会いd e 愛」では、「誰もが出会える交流の場づくり」を進めるため、地域にある多様な「場」を調査します。また「場」同士が情報交換し連携することができるよう、つなげていくための方策を検討します。

(4) 「チーム支えあい」による事業推進

「チーム支えあい」では、ご近所の見守り・協力ネットワーク（オレンジネット）づくりを目指し、認知症サポーターや登録ボランティア等の人財の確保や活動につなげるコーディネート、既存のネットワーク活動との連携など総合的に検討します。『オレンジネット大作戦 2011』

(5) 福祉のつどい2011

「第2次地域福祉活動計画」を区民の皆さんに知っていただくため、また、第2次地域福祉活動計画の進捗状況を発表する機会として「福祉のつどい2011」を開催します。

2 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進協議会活動への支援

区内における地域福祉活動の中心的役割を担う地域福祉推進協議会活動を支援するため、事業経費の助成を始め、事業実施方法等の相談、会議への職員参加、先進地域の活動紹介などを行うとともに、「地域福祉交流会」、「地域福祉推進協議会会長連絡会」、「地域福祉推進協議会研修会」を開催します。

また、在宅の高齢者及び障がい者が食事を介しお互いにふれあうことにより、孤独感を緩和することを目的とした「ふれあい給食サービス事業」についても引き続き事業経費の助成や実施方法の相談など支援するとともに、要援護者を近隣の住民が日常的に見守る「ふれあいネットワーク活動」の実施・促進のため「ふれあいネットワーク運営会議開催費助成」も引き続き実施し、住民主体の地域福祉活動の一層の活性化を図ります。

(2) 「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」の実施【市委託事業】

団塊の世代を対象に、ボランティア活動を行うことにより、公的制度では解決できない地域での生活課題を解決する力を高め、生きがいづくりや地域住民同士の支えあいの意識を高め、助けあいの活動を活性化することを目的とした事業を、山吹学区、明倫学区の他、新規に1学区を加え実施します。

(3) 「地域福祉推進協議会活性化支援試行事業」の実施

「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」の実施学区の地域福祉推進協議会に地域福祉活動推進員を試行的に配置し、本会のコミュニティワーカーと協力しながら、個別支援事業等を実施することを通じて、地域福祉推進協議会事業の推進を支援します。

3 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアのコーディネート及びボランティア活動の支援を行うボランティアセンターが、より一層地域の皆さまの身近な存在となり得るように、機能強化・広報等を実施します。

(2) ボランティア養成「傾聴ボランティア養成講座」の開催

心のケアサービスである傾聴が果たす役割やニーズが大きくなっているため区内のボランティアや福祉施設などの協力のもと「傾聴ボランティア養成講座」を開催します。なお、講座の一部は「認知症サポーターフォローアップ研修」としても活用します。（「第2次地域福祉活動計画」関連事業）

(3) 福祉教育の推進

福祉教育インストラクター等とともに、次代を担う子どもたちを始め地域住民に対し、福祉や障がいがある方などへの理解を深めるため地域や学校での福祉教育を推進します。

(4) 「東ほっとネット」との連携・協働

東区内のボランティア連絡組織「東ほっとネット」と引き続き協働し、東区のボランティア活動をより一層活性化していきます。

4 低所得者援護事業

(1) 法外援護事業の実施

本年度も低所得世帯等に対して、区役所保護係と連携し、住所不定者等への法外援護事業も実施します。

(2) 生活福祉資金貸付事業の実施

他の資金の借入れが困難な低所得世帯等に対し、生活福祉資金の貸付と援助指導を実施します。また、昨年度に引き続き、専門の生活福祉資金相談員を配置し、相談・援助体制の充実を図ります。

5 児童福祉事業

次代を担う子どもたちの健全育成と、子育て支援を図るため、各種団体への支援を行います。

- (1) 子ども会活動への事業助成を行います。
- (2) 少子化、児童虐待等への対処のため、主任児童委員活動を支援します。
- (3) 子育てサロン・サークルへの事業助成を行います。
- (4) その他、児童福祉関係団体への事業助成を行います。

6 高齢者福祉事業

(1) 高齢者はつらつ長寿推進事業（さくらクラブ・もみじクラブ）の実施【市委託事業】

本事業は、平成22年度まで市と市社会福祉協議会が契約し、本会が協力して実施してきましたが、市が平成23年度からの受託法人の公募方式で募集したことに伴い、本会が直接応募し受託法人として選定されることとなりました。

引き続き、区内8会場において、地域ボランティアの協力のもと健康増進活動やレクリエーション活動等を通しての仲間づくり、自主活動や地域活動への参加促進を図り、地域ぐるみの介護予防を推進します。

(2) 安心して暮らせる在宅生活の支援

高齢者世帯の地震発生時の安全を図ることを目的とした「耐震留具取付助成事業」を引き続き実施します。また、「寝具クリーニングサービス事業」についても引き続き実施します。

(3) 高齢者の社会活動への支援のため、老人クラブへの事業助成を行います。

(4) 長寿祝いの贈呈等を行います。

(5) その他、高齢者を対象としたサロン事業を実施している団体への事業助成を行います。

7 障がい者福祉事業

障がいがある方の地域社会での生活がより快適なものとなるよう、支援します。

(1) 安心して暮らせる在宅生活の支援

障がい者世帯の地震発生時の安全を図ることを目的とした「耐震留具取付助成事業」を引き続き実施します。また、「寝具クリーニングサービス事業」についても引き続き実施します。

(2) 身体障害者福祉協会等への事業助成を行います。

(3) ひがし社協だよりの点訳版・音声訳版の作成・配布

点訳ボランティアグループ「ポイント・テン」及び音声訳ボランティア「伝伝虫」の協力のもと実施します。

8 高岳げんき館（在宅サービスセンター）の運営

地域福祉活動の推進を図るため、研修室を貸出します。また、ボランティア室、点訳室、録音室を登録ボランティアに貸出します。

9 「たかおか福祉デー」の開催

地域住民とボランティアが出会い、交流し、ボランティア活動等への理解を深める機会とするとともに、親しまれる施設づくりを目指して、高岳げんき館、高岳児童館・福祉会館がボランティアと連携し、「たかおか福祉デー」を開催します。（「第2次地域福祉活動計画」関連事業）

10 高岳児童館・福祉会館の管理・運営

名古屋市の施設に係る指定管理者制度に基づき、福祉会館の施設と児童館の施設が、隔たりなく交流できる構造を活かし、世代間交流を図りながら管理・運営を行います。

(1) 児童館

・子ども育成活動の実施

卓球、オセロ、ドッジボール大会、バスハイク、映画会、人形劇等遊びを通して子どもたちの健やかな成長を図り、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に各種行事を実施します。

また、造形工作、卓球等のクラブ活動を実施します。

併せて、地域子ども会等のボランティアの育成も行います。

・子育て支援活動の実施

親子体操や親子クラフト等のクラブ活動を実施します。

・留守家庭児童クラブの実施

放課後の留守家庭の児童を対象に、家庭的な雰囲気の中で健康で情操豊かに過ごせるよう留守家庭児童クラブを実施します。

(2) 福祉会館

・福祉増進事業の実施

趣味の講座や健康教室等を開催するとともに、レクリエーション活動や

同好会活動を支援します。また、健康や生活に関する相談事業を行います。

囲碁将棋室、卓球室、集会室、浴室等を無料で提供します。

・名古屋市福祉会館わくわく通所事業の実施

「名古屋市福祉会館わくわく通所事業実施要綱」に基づき、いきいき括支援センターと綿密に連携しながら、閉じこもりがちな二次予防事業対象者（旧：特定高齢者）を対象に各種介護予防プログラムを提供します。

1 1 広報・啓発活動

(1) 広報紙「社協だより」の発行（年2回）

(2) ホームページの運営

1 2 財源の確保

(1) 共同募金運動への協力（委員会事務局の受託）

(2) 賛助会員の募集

(3) 地域福祉基金の管理

(4) 寄附金の募集

(5) 寄附機能付き自動販売機の設置にかかる普及促進

1 3 いきいき支援センター事業

本会事務所内に、名古屋市社会福祉協議会の「名古屋市東区いきいき支援センター」を設置し、次の事業を実施します。

(1) 基本機能

①総合相談支援

高齢者の相談を総合的に受け止めるとともに、訪問して実態を把握し、必要なサービスにつなぎます。

②権利擁護

虐待の防止等高齢者の権利擁護に努めます。

③包括的・継続的マネジメント支援

高齢者に対し包括的かつ継続的なサービスが提供されるよう、地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制の構築を支援します。

④介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行います。

(2) 認知症高齢者を介護する家族支援事業

認知症高齢者を介護する家族に対し家族教室、もの忘れ相談医の専門相談・介護者サロンの開催を通じて、認知症に関する知識・介護方法の面だけでなく、

精神面も含めた支援を行います。今年度は、介護者の参加しやすい環境づくりとして、モデル的に家族教室と介護者サロンを同一日に開催します。

(3) 認知症専門部会の拡充

認知症になっても地域で安心して暮らしていけるよう、地域の関わりについて必要な取り組みを検討する「認知症専門部会」の充実を図ります。

1.4 在宅福祉サービス事業

本会事務所内に、名古屋市社会福祉協議会の「東区介護保険事業所」を設置し、下記の事業を実施します。

(1) 居宅介護支援事業

居宅サービス計画を作成し、高齢者の心身の状態や希望に添った介護保険サービス提供の調整を行います。また、名古屋市から委託を受けた要介護認定調査、いきいき支援センターの委託を受けた介護予防サービス計画の作成を実施します。

(2) なごやかヘルプ事業（訪問介護事業）

様々な制度に則り、自立の支援を目的としたホームヘルプサービスを提供します。また、既存の制度では賄えないニーズに対して、契約により生活応援サービスも実施します。

利用できる方	根拠
要介護・要支援認定を受けた方	介護保険法
二次予防事業対象者（旧：特定高齢者）の決定を受け、ホームヘルプサービスが必要な方	自立支援訪問介護
障がいがある方	障害者自立支援法
ひとり親の方、出産後の方、難病の方	名古屋市からの委託
子どもの養育に支援が必要な方	名古屋市からの委託
既存の制度では賄えないニーズに対して	生活応援サービス

平成 2 3 年度 資金収支予算総括表

(単位:千円)

区 分		収 入			支 出		
		本年度 予算額	前年度 予算額	増△減	本年度 予算額	前年度 予算額	増△減
経 理 区 分	法人運営	57,165	48,708	8,457	57,165	48,708	8,457
	共同募金配分金	7,800	7,335	465	7,800	7,335	465
	地域福祉基金	302	302	0	302	302	0
	児童館	31,101	31,347	△ 246	31,101	31,347	△ 246
	福社会館	41,790	41,848	△ 58	41,790	41,848	△ 58
一 般 会 計 合 計		138,158	129,540	8,618	138,158	129,540	8,618

収 入 = 経常収入計(1)+施設整備等収入計(4)+財務収入計(7)+前期末支払資金残高(12)

支 出 = 経常支出計(2)+施設整備等支出計(5)+財務支出計(8)+予備費(10)

社会福祉法人名古屋市東区社会福祉協議会
平成22年度事業報告

1 法人運営

(1) 理事会・評議員会

事 項	開 催 月 日	開催場所	議 案 等
監査会	平成22年5月14日	高 岳 げんき館	本会の事業執行状況及び財産の状況の監査
第45回理事会	平成22年5月21日	高 岳 げんき館	1 任期満了に伴う評議員の選任 2 平成21年度事業報告及び決算の議決 3 職員就業規則の一部改正 4 嘱託員就業規則の一部改正
第42回評議員会	平成22年5月25日	高 岳 げんき館	1 任期満了に伴う理事及び監事の選任 2 平成21年度事業報告及び決算の議決 3 報告事項 ① 職員就業規則の一部改正 ② 嘱託員就業規則の一部改正
第46回理事会	平成22年6月1日	高 岳 げんき館	1 会長の選任 2 副会長の選任 3 会長職務代理者の指名 4 顧問の選任 5 常務理事の指名 6 報告事項 ① 平成22年度主要事業の予定 ② 高齢者はつらつ長寿推進事業
第47回理事会	平成22年12月20日	高 岳 げんき館	1 評議員の選任 2 職員就業規則の一部改正 3 嘱託員就業規則の一部改正 4 報告事項 ① 会長専決 ② 平成22年度主要事業の実施状況
第48回理事会	平成23年3月23日	高 岳 げんき館	1 平成23年度事業計画の議決 2 平成23年度収支予算の議決 3 職員就業規則の一部改正 4 嘱託員就業規則の一部改正 5 職員給与規程の一部改正 6 顧問の選任 7 名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業委託契約の締結 8 報告事項 名古屋市社会福祉協議会 在宅福祉事業本部制の導入

事 項	開 催 月 日	開催場所	議 案 等
第43回評議員会	平成23年3月23日	高 岳 げんき館	1 平成23年度事業計画の議決 2 平成23年度収支予算の議決 3 報告事項 ① 職員就業規則の一部改正 ② 嘱託員就業規則の一部改正 ③ 職員給与規程の一部改正 ④ 顧問の選任 ⑤ 名古屋市高齢者はつらつ長寿推進事業委託 契約の締結 ⑥ 名古屋市社会福祉協議会 在宅福祉事業 本部制の導入

(2) 地域福祉の基盤と財源づくり

事 項	摘 要																
地域福祉基金積立	原資 45,955,000円 果実 276,815円																
賛助会員	<table border="1"> <thead> <tr> <th>会員種別</th> <th>会員数</th> <th>口数</th> <th>会費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人・団体</td> <td>168</td> <td>227</td> <td>1,135,000</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>703</td> <td>1,103</td> <td>1,103,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>871</td> <td>1,330</td> <td>2,238,000</td> </tr> </tbody> </table> ※ 法人・団体 : 1口 5,000円 個人 : 1口 1,000円	会員種別	会員数	口数	会費	法人・団体	168	227	1,135,000	個人	703	1,103	1,103,000	合 計	871	1,330	2,238,000
会員種別	会員数	口数	会費														
法人・団体	168	227	1,135,000														
個人	703	1,103	1,103,000														
合 計	871	1,330	2,238,000														
共同募金配分金	7,333,335円 <内訳> 一般募金配分金 7,138,184円 歳末たすけあい募金配分金 195,151円																
寄付機能付飲料自動販売機取扱手数料<新規>	181,515円 (6月～)																

2 地域福祉推進事業

(1) 第2次地域福祉活動計画の推進

住民参加型活動計画支援組織「みんなで創ろうわがまちひがし」のメンバーを中心として、住民とともに進行管理を行う体制を構築しながら、3つのワーキンググループでの検討と世話人会による全体調整を図りつつ計画事業の着実な実施に努めた。

① 推進体制

事 項	摘 要
第2次みんなで創ろう わがまちひがし	月1回（毎月第4木曜日）定例会を開催
全体会	全体の情報共有やグループごとの連絡を目的として、グループ別会議の前に実施
グループ別検討会 (ワーキングチーム)	テーマごとにグループを設置して、各計画事業の企画運営を担う ①グループA i 「誰もが参加できる福祉風土づくり」担当チーム 22年度は、「みんつくフリマA i」の企画実施とボランティア活動の振興等について検討した。 ②チーム出会い de 愛 「誰もが出会える交流の場づくり」担当チーム 22年度は、「ひまわりサロン」の新規開設と施設の愛称募集を行い、『高岳げんき館』に決定した。 ③チーム支えあい 「地域の支えあいネットワークの推進」担当チーム 22年度は、生活に困りごとを抱えている視覚障がい者の方をモデルに住民やボランティアによる個別支援の取り組み方法を検討し「みんつく支えあいガイド」を作成するとともに“福祉のつどい2010”において、ご近所の見守りと助けあい活動の提案を行った。
世話人会	全体会とグループ別検討会終了後、世話人会を開催し、グループ間の調整を始め計画事業全体の進行管理や評価指針の検討を行った。 (構成員：グループ代表者各2人と学識経験者及び社協事務局)

② 実施事業

事 業 名	実施時期	場 所	摘 要
「かえるポスト」の設置<継続>	通 年	高岳げんき館	来館者の意見を施設運営に役立てるために実施 意見数 138件（全件回答）
「福祉なんでも110番」の設置<継続>	通 年	東区社協	困りごと電話相談の実施 延べ相談件数 14件 (内訳) 高齢者分野 5件 障がい者分野 2件 生活・医療分野 1件 その他 6件

事業名	実施時期	場所	摘要
ふれあい・いきいきサロン 「ふれあい広場」の実施 〈継続・拡充〉	通 年	ちから館とくがわ 大松個人宅 山吹荘集会所 東大曽根町公民館	誰もが気軽に集まり、情報交換で きる「たまり場」を4か所で月1回 実施 延べ参加者数 559人 (内訳) あいおい 144人 大松 167人 やまぶき 162人 東大〈新規〉11月～ 86人
「地域で子どもの見守りをし よう」の実施 〈継続〉 ・商店街の協力による子どもの 見守り声かけ運動	通 年	区 内	地域の安全と安心の推進を目的に 商店街を中心とした子どもの見守 り声かけ運動を実施するため、子 ども見守りステッカーを配布。 併せて、障がいがある方に対する 理解を深めるため、飲食店や商店 を対象に接客マニュアルを配布 ・ 東桜学区地内商店 55店 (平成23年9月30日実施) ※今年度で全学区配付終了 ※17年度からの延べ協力店数 計552店
「ひまわりサロン」の開設 〈新規〉	通 年	高岳げんき館	誰もが気軽に参加できるサロンを 月1回開設。福祉施設の協力や福 祉会館利用者もボランティアとし て参加 利用者 1,456人 ボランティア 106人
東区在宅サービスセンター 愛称「高岳げんき館」の決定 〈新規〉	公募期間 7月～9月 12月19日 公表	東区社協	在宅サービスセンターが区民によ り身近で親しみのある施設となる ことを目指し、愛称を募集 応募作品 全国から314点

(2) 啓発・推進事業

事業名	実施時期	場所	摘要
「福祉のつどい2010」 の開催	9月1日	東文化小劇場	第1部 第2次地域福祉活動計画実施報告 第2部 講演会 テーマ「人生あきらめたらあかん!!」 ～足りないものに不平不満を言わず、 有るものに感謝～ 講 師：コスパルシガー 市岡 裕子 さん 参加 310人
広報紙「ひがし社協だより」 の発行	7月 2月	東区社協	区民に対する社会福祉の情報提供 7月 4,900部発行 組回覧 2月 4,500部発行 〃

事業名	実施時期	場所	摘要
東区福祉事業資料の発行	8月	東区社協	300部発行
「ひがし福祉まつり」の開催	10月17日	建中寺公園	地域福祉に関係する団体と区民との交流の場として、区民まつりと合同で「なごやかまつり・ひがし」として開催。ボランティアによる福祉体験コーナー、地域福祉推進協議会による模擬店等 参加 17,000人
「たかおか福祉デー」の開催	12月19日	高岳げんき館	在宅サービスセンター愛称「高岳げんき館」公表、音訳、点訳、手話体験、防災啓発展示他 従事者 16団体56人
東区社会福祉協議会及び、児童館・福祉会館ホームページの運営	通年	東区社協	本会のイベントや福祉情報の提供・メール相談等ホームページを通じて行った。 〈東区社会福祉協議会のホームページ〉 http://www.higashi-fukushi.com 〈高岳児童館・福祉会館のホームページ〉 http://www.higashi-fukushi.com/takaoka/

(3) 地域福祉推進協議会への活動支援

① 地域福祉関係各種研修会・連絡会等

事業名	実施時期	場所	摘要
コミュニティワーカーによる地域支援	通年	地域	担当学区の民協や給食会などの関係行事へ出向き、地域の関係者と信頼関係を築きながら、ふれあいネットワーク活動や困りごとの解決に向け関係機関等との協働を実施
「地域福祉交流会」の実施	11月26日	滋賀県大津市	各学区の地域福祉推進協議会ボランティアを対象に今後の活動の参考となる見学・研修会と情報交換・交流を実施 参加 100人
「地域福祉推進協議会会長連絡会」の開催	3月25日	高岳げんき館	ふれあいネットワーク活動の実施状況や助成にかかる事務手続きの説明などを実施 参加 23人

② 地域福祉推進協議会の活動状況

学区	活動状況
東 桜	ふれあいネットワーク活動、広報紙「ひがしサクラ推進協だより」の発行、福祉ボランティア助成、ふれあい土曜コーヒーサロン、子育てサロンこさくらくらぶ、はつらつ健康まつり、世代間交流事業（運動会、グラウンド・ゴルフ大会、ふれあいもちつき大会）
山 吹	ふれあいネットワーク活動、高齢者ニーズ調査、広報紙「いしずえ」の発行、子育て支援「やまぶきっ子」、園児との交流会、ワイワイ事業、三世代ふれあいもちつき大会、観桜会、七夕会、詩吟会

学 区	活 動 状 況
東白壁	ふれあいネットワーク運営会議、東しらかべっ子、世代間交流事業（わいわい運動会、ふれあい学校給食、年賀状訪問、もちつき大会）、お元気ですか友愛訪問
葵	ふれあいネットワーク活動、福祉座談会、認知症サポーター養成講座、葵子育てサロン、葵フェスティバル、世代間交流もちつき大会、ふれあいの集い
筒 井	ふれあいネットワーク運営会議、広報紙「筒井の泉」の発行、小学校ふれあい会食、世代間交流事業（盆踊り大会、餅つき大会）、体育祭敬老会、生きがいクラブ筒井
旭 丘	子育てサークル「あさひっ子」、生きがいクラブ旭丘、健康教室、三世代敬老会、クロリティ大会
明 倫	ふれあいネットワーク活動、あいさつ運動、広報紙「ぬくもり」の発行、お節句会、七夕会、体育祭、お月見会、クリスマス会、高齢者年賀状、おひなまつり、赤い羽根街頭募金
矢 田	広報紙「ふれ愛」の発行、矢田子育てサロン、三世代交流会、高齢者ふれあい事業、推進協研修会、敬老会
砂田橋	広報紙「ふれあい」の発行、砂田橋子育てサロン、高齢者健康教室、三世代交流高齢者と子どものふれあい事業、高齢者世帯の集い(生き生きふれあい交流)、お便り訪問活動

③ ふれあい給食サービス事業の実施状況

学 区	回 数	平 均 利用者数	平 均 ボランティア数	調 理 方 法	主 な 利 用 施 設
東 桜	年12回	35人	7人	一部手づくり	高岳げんき館
山 吹	年4回	24人	19人	一部手づくり	山吹コミュニティセンター
東白壁	年4回	88人	8人	全部手づくり	東白壁コミュニティセンター
葵	年6回	33人	16人	業者委託	葵小学校特活室
筒 井	年6回	46人	17人	一部手づくり	筒井コミュニティセンター
旭 丘	年4回	52人	19人	全部手づくり	旭丘コミュニティセンター
明 倫	年5回	51人	19人	全部手づくり	明倫コミュニティセンター
矢 田	年9回	57人	33人	一部手づくり	東ふれあい広場
砂田橋	年5回	43人	21人	全部手づくり	砂田橋会館

④ 名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業（地域福祉推進協議会活性化支援試行事業）のモデル実施

山吹・明倫学区の2学区において、団塊の世代を中心としたシルバー世代に対して、地域で活動するための情報提供を行い、地域の福祉ニーズを地域の助けあいで解決するしくみを構築するためのモデル事業を実施した。

項 目	内 容				
シルバーパワー活用 連絡会議の開催	各モデル学区において、推進協構成員等が参加し地域における課題の把握やボランティアポイントの対象となる活動の認定等を行う会議を開催した。				
	学 区	開催回数	開催日		
	山 吹	2回	8月2日、3月14日		
	明 倫	3回	9月1日、9月22日、3月29日		
協働ネットワーク研修 の開催	地域で助けあい活動（個別支援事業）をするために必要な知識等を学ぶ研修会を2学区合同で開催した。				
	開催日	場 所	内 容		
	2月17日	高岳げんき館	支え合いマップの手法を学び、個別支援事業の実施につなげる。		
ボランティアポイント の付与	50歳以上のボランティアにボランティアカードを発行し、活動に応じてポイントを付与した。				
	学 区	認定事業数	ボランティ ア登録者数	延べ 活動者数	ポ イ ン ト付与数
	山 吹	16事業	189人	2,102人	6,348ポ イ ン ト
	明 倫	13事業	87人	1,304人	2,769ポ イ ン ト
ボランティアポイント の還元	ボランティアポイントを金額換算し、下記の福祉団体に寄附した。				
	還元先	還元ポイント		還元金額	
	山吹ワーキングセンター	2,662ポイント		26,620円	
	山吹福祉推進協議会	1,170ポイント		11,700円	
	明倫福祉推進協議会	2,695ポイント		26,950円	

(4) 福祉教育の推進 <福祉体験プログラムの企画・調整>

事 項	実施時期	摘 要
小学生向け	6月22日 11月16～17日 11月30日	福祉体験教室の企画及びインストラクターの派遣調整 3件 参加児童 166人 インストラクター 36人
中学生向け	12月1日 1月18～19日	「総合的な学習の時間」の一環として「福祉」をテーマに取り組む生徒に対して体験学習の協力 2件
高校生向け	8月	金城学院高等学校サマーボランティア体験の支援
地域住民向け	12月19日	たかおか福祉デーにおいて、各種体験の企画・運営 (点字・音訳・手話・サウンドテーブルテニス・防災) 体験参加者 577人
	通 年	認知症サポーター養成講座の実施 <いきいき支援センター> 21回、参加者延べ379人

(5) 安心して暮らせる在宅生活の支援

高齢者・障がい者世帯の在宅生活を支援するため、寝具クリーニングサービスを実施した。
また、災害時の安全を図るため、耐震留具取付事業も実施した。

事 項	実施時期	摘 要
寝具クリーニングサービスの実施	6月	ひとり暮らし高齢者や障がい者世帯の方などを対象に寝具クリーニングサービスを実施 利用数 346件 <内訳> ・ひとり暮らし高齢者 282件 ・高齢者のみ世帯 57件 ・障がい者 7件

3 ボランティア活動の推進

事業名	実施時期	場 所	摘 要
ボランティアセンターの運営 ・ボランティアの登録、活動紹介、派遣調整	通 年	東区社協	ボランティア登録数 2,824人 (個人39人、グループ109団体2,785人) ニーズ対応状況 相談件数 131件 対応状況 解決済件数 126件 対応不可 5件
・点訳ボランティア入門講座<新規>	9月7日～11月30日(全11回)	高岳げんき館	点訳ボランティアグループ「ポイント・テン」に協力いただき、ボランティア入門講座を実施 参加者 5人
東ほっとネットの活動(事務局) ・役員会の開催	通 年	高岳げんき館	役員16人 9回開催 ※6・12・3月は開催なし
・第9回総会及び交流会の開催	6月12日	高岳げんき館	総会后、ボランティア同士の交流会を実施 参加 28団体・個人
・東区総合防災訓練への参加	9月5日	桜丘中学校	災害ボランティアセンター設置・運営訓練 従事者 20人 参加者 47人
・なごやかまつり・ひがしへの参加	10月17日	建中寺公園	福祉体験コーナー等を担当 体験コーナー 従事者 8団体68人 ステージ 従事者 2団体 3人 その他(駐輪場等) 従事者 7団体42人
・赤い羽根共同募金街頭募金への協力	11月14日	イオンナゴヤドーム前ショッピングセンター	赤い羽根共同募金街頭募金の実施協力 参加者 16団体63人
・講演会の開催(名古屋市人権尊重のまちづくり事業)	2月27日	高岳げんき館	「子どもに対する虐待について～私たちにできること～」をテーマとして、NPO法人子どもセンター“パオ”の高橋直紹理事による講演会を実施 参加者 48人

4 低所得者援護事業

事業名	実施時期	場所	摘要
要援護者への法外援護	通年		住所不定者等に対する法外援護 237件
生活福祉資金貸付事業	通年		<p>低所得世帯等に対して資金の貸付と援助指導を実施</p> <p>相談件数 364件 貸付中件数 46件 (新規:18件) <内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合支援資金 24件 (10件) ・ 教育支援資金 7件 (0件) ・ 福祉資金 2件 (0件) ・ 緊急小口資金 13件 (8件) ・ 臨時特例つなぎ資金 0件 (0件) <p>今年度の貸付決定金額 6,821,200円</p>

5 児童福祉事業

事業名	実施時期	場所	摘要
子育てサロン・サークルの支援	通年	区内各所	東区内子育てサロン・サークルへの運営費助成 助成団体数 11件
子ども会大会の支援	1月22日	東区役所講堂	優良子ども会等の顕彰及び指導者講習会に対する助成 参加 200人
子ども会ジュニアリーダー養成講習の支援	5月16日～ 11月15日	春日井市少年自然の家 東区役所講堂等	東区子ども会会員を対象にジュニアリーダーとなるための養成講習・キャンプに対する助成 参加 37人
子ども会綱引き大会の支援	8月28日	東スポーツセンター	綱引き大会に対する助成 参加 約500人
ちびっこふれあい劇場の支援	10月15日	東区役所講堂	幼児とお年寄りの交流事業に対する助成 参加 幼児142人・高齢者50人
留守家庭児童育成会の支援	通年	区内各所	留守家庭児童育成会への医薬品の整備に対する助成 助成学童保育所 4所

6 高齢者福祉事業

(1) 高齢者はつつ長寿推進事業（さくらクラブ・もみじクラブ）の実施

閉じこもりがちで健康に不安を持つ高齢者に、コミュニティセンター等において、心身機能低下の防止などのプログラムを提供するとともに仲間づくりや社会参加の促進を図った。

内 容	摘 要				
主なプログラム等	① 健康づくり : 健康体操、健康についての講話など ② 趣味活動 : 手芸、編物、ペーパークラフト、絵手紙など ③ レクリエーション: ゲームなど ④ 仲間づくり : お茶会など ⑤ その他 : 災害についての講話など				
会場、曜日及びボランティアの状況	会 場		曜 日	登録ボランティア数 (人)	
	山吹コミュニティセンター		月	午前	20
	筒井コミュニティセンター			午後	7
	旭丘コミュニティセンター		火	午前	5
	明倫コミュニティセンター			午後	6
	葵小学校 プレイルーム		水	午前	6
	東白壁コミュニティセンター			午後	3
	東ふれあい広場		金	午前	4
	サンコート砂田橋 集会場			午後	6
	合 計				57
実施回数等	会 場		実施回数	平均登録者数	平均実参加者数
	山吹コミュニティセンター		42	23.0	22.7
	筒井コミュニティセンター		42	21.9	20.3
	旭丘コミュニティセンター		45	22.6	22.3
	明倫コミュニティセンター		46	22.7	21.8
	葵小学校プレイルーム		45	22.6	21.8
	東白壁コミュニティセンター		46	22.8	22.3
	東ふれあい広場		43	21.8	20.7
	サンコート砂田橋 集会場		45	21.2	19.5
	合 計		354	22.3	21.4

(2) その他高齢者福祉事業

事 業 名	実施時期	場 所	摘 要
グラウンド・ゴルフ大会の支援（共催）	5月25日 10月13日	名城公園	グラウンド・ゴルフ大会に対する助成 参加 240人
クオリティ大会の支援	3月2日 8月27日	東区役所講堂	クオリティ大会に対する助成 参加 72人
長寿祝品の贈呈	9月	区内各所	数え100歳以上の高齢者に対し祝品贈呈 28人

事業名	実施時期	場所	摘要
学区敬老行事の支援	9月		各学区敬老行事に対する助成
シルバー趣味の作品展の支援（共催）	12月8日～10日	東区役所講堂	高齢者の作品展に対する助成 出品325点 鑑賞368人
高齢者サロンの支援	通年	区内各所	東区内高齢者サロンへの運営費助成 助成団体数 4件

7 障がい者(児)福祉事業

事業名	実施時期	場所	摘要
広報なごや東区版とひがし社協だより等の点訳・音訳版の配布	通年		点訳ボランティアグループ「ポイント・テン」・音声訳ボランティアグループ「伝伝虫」の協力により作成 対象：点訳版 9人 音訳版 12人
車いす等福祉機器の無料貸出の実施	通年	高岳げんき館	車いす等福祉機器の短期使用・購入までの試用・研修での使用等のための貸出を実施 延件数47件 実人数43人
障がい者スポーツ大会参加の支援	5月9日 8月29日 11月28日	瑞穂公園 障害者スポーツセンター等	フライングディスク・陸上競技の部 参加 13人 水泳の部 参加 1人 卓球の部 参加 5人
東区特別支援教育作品展の支援	11月25日～26日	東区役所講堂	小中学校の特別支援学級で学ぶ児童・生徒の作品展に対する助成 参加 84人
東区手をつなぐ育成会「成人を祝う会」の支援	1月29日	シダックス千種店	東区手をつなぐ育成会の「成人を祝う会」に対する助成 参加 13人

8 高岳げんき館（在宅サービスセンター）の運営

地域福祉活動の推進を図るため研修室を貸出した。また、登録ボランティアに対し、ボランティア室、点訳室、録音室を貸出した。

〈利用状況〉

	研修室	点訳室	録音室	ボランティア室	合計
延利用団体数(団体)	367	46	79	サロン状態での利用のため把握	492
延利用者数(人)	8,358	251	584	できず	9,193

※ その他、職員による地域貢献活動の取り組みとして、在宅サービスセンター付近（地下鉄高岳駅出入口）の自転車整理を自治会役員等とともに週2回実施した(職員提案制度による実施事項)

9 在宅福祉サービスの提供

本会事務所内に名古屋市社会福祉協議会の東区いきいき支援センター及び東区介護保険事業所を設置し、在宅福祉サービスの提供に協力した。

(1) 東区いきいき支援センター（地域包括支援センター）事業への協力

高齢者福祉なんでも相談所として、地域住民の心身の健康維持や生活安定、保健・福祉・医療の向上、虐待防止など高齢者を支える総合相談機関として事業を進めた。

① 相談状況等

区 分	内 容																
ア 総合相談・権利擁護	<p>健康・福祉、虐待や権利擁護など総合相談</p> <p style="text-align: right;">単位：件</p> <table border="1"> <tr> <td>虐 待</td> <td>1 3</td> </tr> <tr> <td>権利擁護</td> <td>1 3</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>健康福祉介護等相談</td> <td>5 4 8</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5 7 9</td> </tr> </table>	虐 待	1 3	権利擁護	1 3	消費者被害	5	健康福祉介護等相談	5 4 8	合 計	5 7 9						
虐 待	1 3																
権利擁護	1 3																
消費者被害	5																
健康福祉介護等相談	5 4 8																
合 計	5 7 9																
イ 包括的・継続的ケアマネジメント支援	<p>困難ケースの相談など地域のケアマネジャーの支援、関係機関とのネットワークづくり</p> <p style="text-align: right;">単位：件</p> <table border="1"> <tr> <td>困難ケース相談</td> <td>1 7</td> </tr> <tr> <td>サービス担当者会議等</td> <td>1 8 7</td> </tr> <tr> <td>地域ネットワークづくり</td> <td>5 6 9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7 7 3</td> </tr> </table>	困難ケース相談	1 7	サービス担当者会議等	1 8 7	地域ネットワークづくり	5 6 9	その他	0	合 計	7 7 3						
困難ケース相談	1 7																
サービス担当者会議等	1 8 7																
地域ネットワークづくり	5 6 9																
その他	0																
合 計	7 7 3																
ウ 介護予防事業	<p>生活機能の低下により要支援状態となるおそれのある高齢者への支援及び特定高齢者に対する介護予防サービス・支援計画表の作成</p> <p style="text-align: right;">単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>特定高齢者決定数</td> <td>4 6 1</td> </tr> </table>	特定高齢者決定数	4 6 1														
特定高齢者決定数	4 6 1																
エ 新予防給付ケアマネジメント	<p>介護保険において要支援1・2に認定された高齢者への支援及び介護予防サービス・支援計画表の作成</p> <p style="text-align: right;">単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>直営分</th> <th>委託分</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>要支援1</td> <td>1 4 0</td> <td>5 2</td> <td>1 9 2</td> </tr> <tr> <td>要支援2</td> <td>2 2 3</td> <td>1 1 1</td> <td>3 3 4</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3 6 3</td> <td>1 6 3</td> <td>5 2 6</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(平成23年3月分)</p>	区 分	直営分	委託分	合 計	要支援1	1 4 0	5 2	1 9 2	要支援2	2 2 3	1 1 1	3 3 4	合 計	3 6 3	1 6 3	5 2 6
区 分	直営分	委託分	合 計														
要支援1	1 4 0	5 2	1 9 2														
要支援2	2 2 3	1 1 1	3 3 4														
合 計	3 6 3	1 6 3	5 2 6														

② その他事業

内 容	実施時期	場 所	摘 要
ア 地域包括ケア推進 会議 〈継続〉	12月10日	高岳げんき館	第1回 ①地域包括支援センター事業実施状況 報告及び相談事例報告 ②認知症専門部会の開催報告 参加委員 15人
	3月17日	高岳げんき館	第2回 ①認知症専門部会の充実について ②平成23年度東区いきいき支援センタ ー事業計画 ③事例検討 参加委員 13人
イ 認知症専門部会 〈継続〉	12月10日	高岳げんき館	第1回 ①認知症高齢者を介護する家族支援 事業の実施状況報告 ②認知症に関する事例報告 参加委員 10人
	3月17日	高岳げんき館	第2回 ①認知症専門部会の充実について ②平成23年度東区いきいき支援センタ ー事業計画 ③事例検討 参加委員 13人
ウ 東区指定居宅介護 支援事業者連絡会 〈継続・拡充〉	6月22日	高岳げんき館	第1回 研修会「地域における、医療と介護の連 携」 講師：三つ葉在宅クリニック 院長 船木 良真 氏 参加者 38人
	12月1日	高岳げんき館	第2回 講演会「名古屋市成年後見あんしんセン ター事業について」 講師：名古屋市成年後見あんしんセンタ ー副所長 平坂 義則 氏 参加者 34人
	3月2日	高岳げんき館	第3回 研修会「利用者様、家族の方の心の健康 について～困難ケースに多い、精神、神 経、疾患（利用者、介護者）の方の対処 方法～」 講師：小林メンタルクリニック 院長 小林 進 氏 参加者 43人

内 容	実施時期	場 所	摘 要
エ 認知症高齢者を介護する家族支援事業 〈継続〉	4月～9月	大幸東団地集会所	認知症の家族教室(全6回コースを2回実施)
	10月～3月	高岳げんき館	介護者の悩みや不安などを傾聴しながら、介護方法の教室や交流会等を行った。 参加者 延べ127人
	通 年	高岳げんき館	家族サロン 月1回、交流会や情報交換等を行い、仲間づくりの支援を行った。 参加者 延べ6人
	通 年	高岳げんき館	医師(もの忘れ相談医)による専門相談 月1回、名古屋市医師会東区支部と連携し、もの忘れ相談を行い、早期発見・早期治療に努めた。 参加者 延べ18人
オ 認知症サポーター養成講座〈継続〉	通 年	区内各所	認知症を理解し、認知症の人や家族に対して温かく見守るサポーターの養成講座を実施し、認知症の理解・普及啓発に努めた。 実施回数21回、参加者延べ379人
カ 医療支援事業 〈継続〉	年間12回	高岳げんき館	名古屋市医師会東区支部の協力により介護予防サービスの作成に関する医学的な見地から助言を得た。 相談件数17件
キ 主任介護支援専門員ニュースの発行 〈継続〉	6月・10月 12月		地域のケアマネジャーに対する情報提供 区内居宅介護支援事業所等58事業所
ク いきいき支援センター職員「学区担当制」の実施	通 年	地 域	各民児協などへいきいき支援センター職員も出席し民生委員との連携を深めることで要援護者の支援に努めた。

(2) 東区介護保険事業所における「居宅介護支援事業」への協力

介護保険の要介護認定を受けた人やその家族の依頼に基づき、介護サービス計画を作成するとともに、名古屋市からの委託を受け、更新認定の調査も行った。

① ケアプラン作成等にかかる業務

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護給付費 請求件数	105	105	108	107	110	111	112	112	113	119	118	118	1,338
要介護認定更新 調査実施件数	7	6	15	10	8	8	12	11	13	10	7	6	113

② 介護給付費請求件数の要介護度別内訳（平成23年3月分）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
件数	7	8	20	41	28	10	3	117
比率(%)	6.0	6.8	17.1	35.0	23.9	8.6	2.6	100.0

(3) 東区介護保険事業所における「なごやかヘルプ事業（訪問介護事業）」への協力

高齢者、障がい者、産後世帯、児童養育困難世帯等へのホームヘルプサービスを実施した。その他、訪問介護員（なごやかスタッフ）を確保するため、集合住宅等へ募集チラシを配布するなど独自のPR活動を新規に実施した。

月	お客様数（人）				時間数（時間）			
	訪問介護	障害者自立支援法	措置等	計	訪問介護	障害者自立支援法	措置等	計
4	125	32	21	178	1,956.1	601.2	136.5	2,693.8
5	130	32	20	182	1,727.4	495.2	132.0	2,354.6
6	130	31	24	185	1,756.3	513.8	128.0	2,398.1
7	132	31	24	187	1,872.3	562.1	126.5	2,560.9
8	131	31	23	185	1,816.9	534.3	127.5	2,478.7
9	133	29	22	184	1,815.2	541.9	125.0	2,482.1
10	138	30	22	190	1,826.9	519.4	126.2	2,472.5
11	139	31	23	193	1,858.8	537.1	141.0	2,536.9
12	139	30	28	197	1,848.0	559.6	148.5	2,556.1
1	137	31	25	193	1,774.2	546.0	148.5	2,468.7
2	139	32	25	196	1,704.1	517.2	126.0	2,347.3
3	143	34	28	205	1,742.2	560.8	132.0	2,435.0
合計	1,616	374	285	2,275	21,698.4	6,488.6	1,597.7	29,784.7

平成22年度 一般会計 資金収支計算書 総括表

経理区分	収 入			支 出			当期末 支払資金残高 B-D
	予算現額 A	収入済額 B	差 異 A-B	予算現額 C	支出済額 D	差 異 C-D	
法人運営	円 48,708,000	円 65,945,778	円 △ 17,237,778	円 48,708,000	円 38,933,910	円 9,774,090	円 27,011,868
共同募金配分金	7,335,000	7,333,335	1,665	7,335,000	7,333,335	1,665	0
地域福祉基金	302,000	276,815	25,185	302,000	276,815	25,185	0
児童館	31,347,000	42,852,696	△ 11,505,696	31,347,000	25,330,575	6,016,425	17,522,121
福祉会館	41,848,000	43,291,157	△ 1,443,157	41,848,000	39,169,458	2,678,542	4,121,699
一般会計 合 計	129,540,000	159,699,781	△ 30,159,781	129,540,000	111,044,093	18,495,907	48,655,688

収入予算現額A = [経常収入計 (1) + 施設整備収入計 (4) + 財務収入計 (7) + 前期末支払資金収支差額 (12)]
 収入済額B = [経常収入計 (1) + 施設整備収入計 (4) + 財務収入計 (7) + 前期末支払資金収支差額 (12)]

支出予算現額C = [経常支出計 (2) + 施設整備支出計 (5) + 財務支出計 (8) + 予備費 (10)]
 支出済額D = [経常支出計 (2) + 施設整備支出計 (5) + 財務支出計 (8) + 予備費 (10)]